

第19期第4回常任理事会議事録

日時 昭和52年2月28日 14.00～17.00

場所 気象庁観測部会議室

出席者 岸保, 小平, 浅井, 朝倉, 内田, 河村, 門脇,
杉本, 立平, 松本, 股野

報告

〔庶務〕 1. 2月4日, 日本気象協会より昭和52年度岡田賞受賞候補者推薦依頼がきた(〆切3月10日)。

2. 2月7日, 日本陸水学会より第21回国際理論応用陸水会議開催に際し後援依頼がきた(開催期日, 昭和55年8月24～31日於京都国際会館)。

〔会計〕 1月分の収支報告。

今のところ会費の値上げはしないですみそうである。

〔講演企画〕 講演申込は例年より少ない。シンポジウムは, 境界層の構造についてである。

〔天気〕 掲載広告が減少してきている。理事会全体で考えてはどうか。

〔気象集誌〕 気象集誌の発刊申請頁数が現実と甚だしく違うため, 文部省から補助金のこともあって, 申請頁数になるべく近づけるよう要請があった。55巻1号は, 60頁(4編)ふやすので, 発行は, 多少遅れるが, 55巻2号は予定通り出した。

〔気象研究ノート〕 1. No. 130, 気象の測定3月23日納本予定。

2. 今後の出版予定。

No. 131, スペクトル解析

- ・都市気候一人間活動と都市における気候変化一
- ・海洋力学
- ・新しい数値予報
- ・気候の物理的基礎と気候のモデル化

以上。印の原稿入手は3月。

〔教育と普及〕 未定であった初日の講演について, 人工衛星と題し, 土屋 清氏が引受けて下さった。また, 静止気象衛星については, 気象庁としても積極的に援助したい。人選は一任してほしいとのこと。

28日の実習は, 八王子市立中学校の原島先生が引受けて下さった。

議題 1. 昭和52年度予算(案)について。

(1) 杉本理事から昭和52年度予算(案)の編成骨子について説明があった。このなかで会議費が少ないとの意

見があり, 特に“教育と普及”の担当理事から最初のころでもあり, どの位かかるかもわからないので実績で考慮して欲しい旨, 要望があった。

(2) 藤原賞, 学会賞の賞金の増額の意見もでたが, 昨年度増額したばかりなので見送ることとし, 連名の場合の賞金は, 半額づつとする。またやむをえず2件の場合は理事会で決めることを確認。

(3) 従来, 夏季大学は, 独立採算制で行なってきたが, 赤字の場合は, 各委員が負担することとなるので, 今後は, 予算化したなかで行なってゆきたい。この件了承。

2. 学会賞, 藤原賞の受賞候補者推薦について。

神山理事欠席のため書面により次のとおり報告があった。

推薦候補者は, 学会賞3件, 藤原賞5件であり, 目下担当委員において検討中である。

3. 総会の提出議題について。

来年は会費の値上げも行なわないし, その他特に取り上げる議題がない。

4. その他。

(1) 杉本理事から, 会計委員会で検討し, 作成した「昭和52年度学会財政の見通しについて」を, 3月号の“天気”に掲載して意見を求めるとの発言に対し, これを了承。

(2) 気象研究ノート編集委員の交代

関根正幸委員より, 仕事の都合から退任したいとの申出があった。代りに同じ専門分野から酒井重典氏を推薦し全理事に書面審査を依頼することを了承。

(3) 選挙管理委員長の交代

安井 正委員長から4月1日で辞任したいとの願出があった。これに対し新任してくる同じポストの方に依頼することを了承。

(4) “天気”“予稿集”の広告掲載の件

最近広告掲載が減少してきている傾向に鑑み理事会として考えるべきであるとの提案に対し, 広告のあり方を変える, 権威づけるため前か後にまとめたのせる方法を検討する, 多くの方に考えて貰うためアンケートを求めることとする。